

競争ルールの検証に関するWG（第50回） 関係者ヒアリング資料

2023年12月22日



一般社団法人 情報通信ネットワーク産業協会

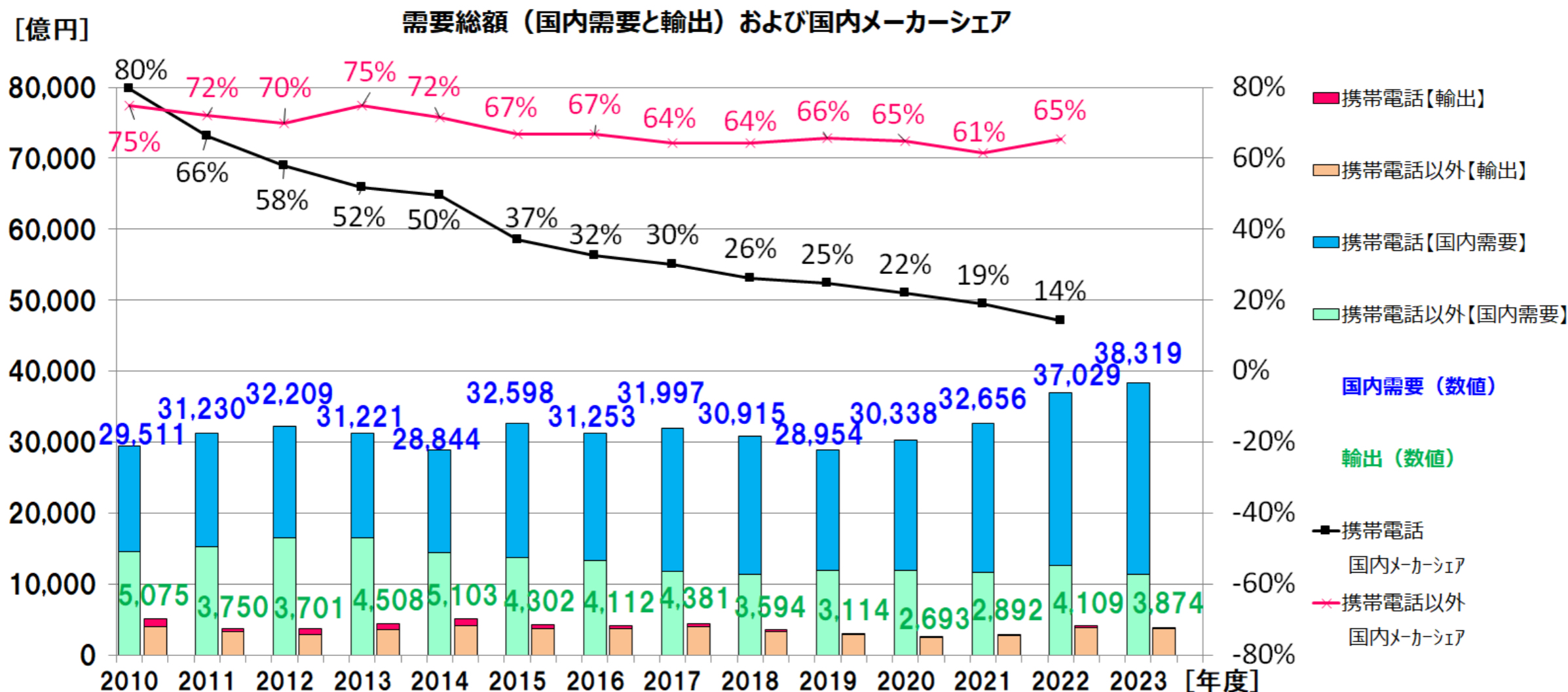
スマートフォンをはじめとした携帯端末は、従来の電話やSNSなどのコミュニケーションツールからキャッシュレス決済やマイナンバーカードを活用した公共サービス、および、災害時の人命確保といった国民の生活に密着したデジタル基盤へ変化してきております。

総務省様では、料金・サービス本位の競争につながる環境整備のため、モバイル市場競争促進プランを策定され、携帯電話の割引上限額の見直し、白ロム割の規制対象化など「公平な競争環境の整備」にご尽力いただき、大変感謝しております。

1. 国内通信機器市場の動向

(1) 国内通信機器の需要動向

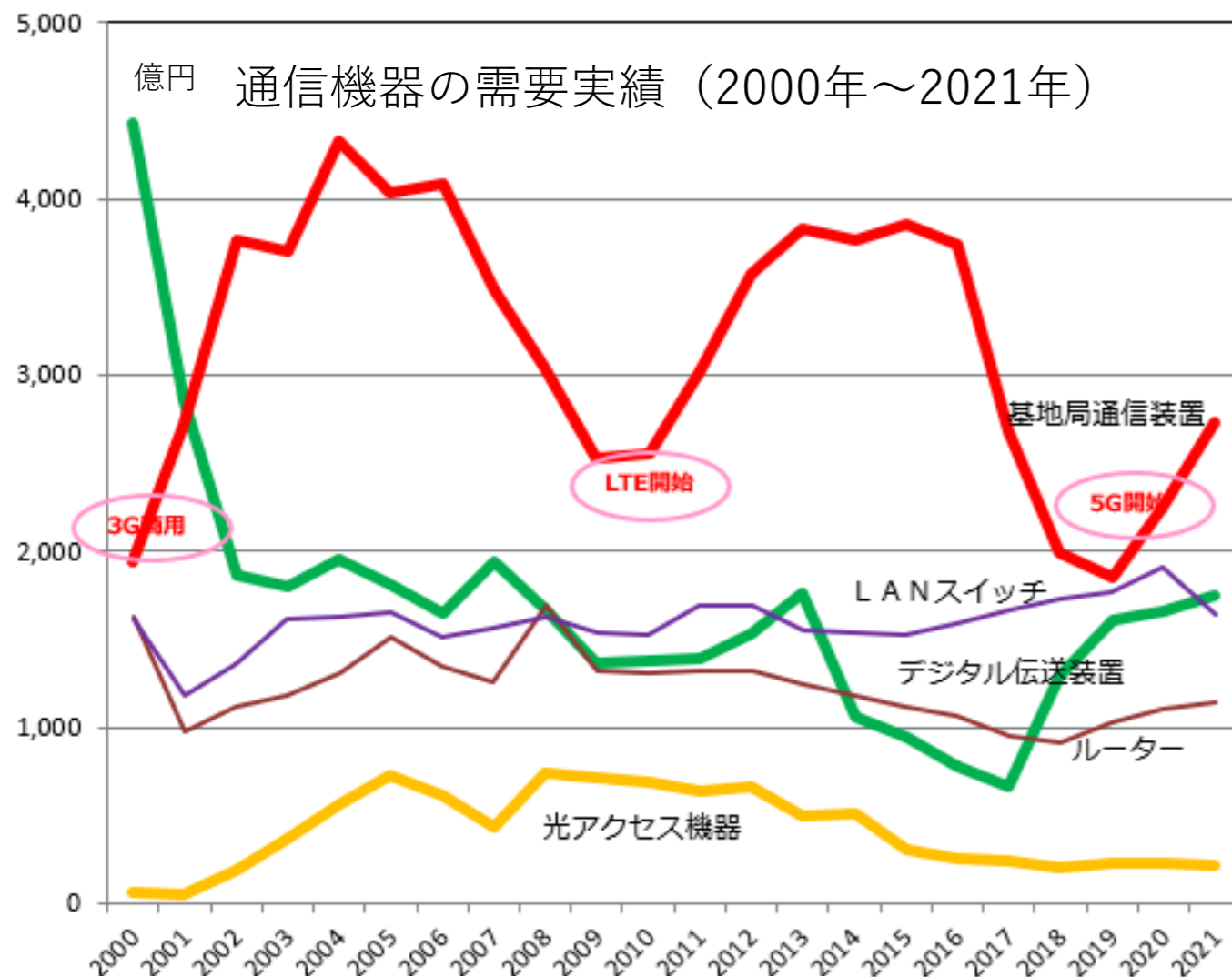
- 2023年度の通信機器の需要総額は4兆2,193億円になると予測（前年度比2.6%増）
- モバイル通信端末は2兆7,064億円（同10.2%増） 端末価格が上昇して金額面では増加
- 円安や部材費高騰などの影響受け、事業縮小や撤退により、国内メーカーシェアはさらに悪化



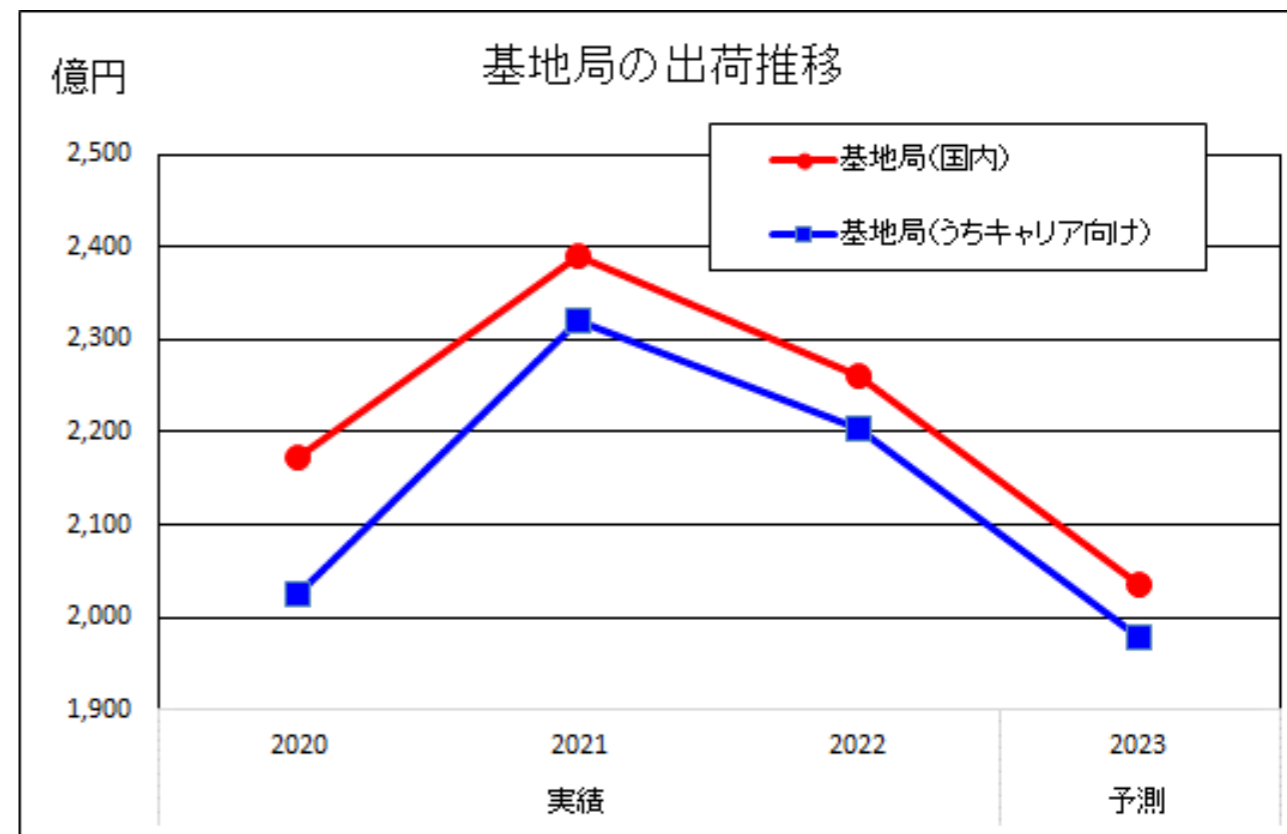
(出典) CIAJ通信機器中期需要予測[2023-2028年度]より <https://www.ciaj.or.jp/>

(2) 国内5G基地局の需要動向

- トラフィック増加に対応して、基地局やネットワーク増強の設備投資が進んでいたが一段落
- 5G基地局の設備投資は、2021年度を境に減少、3GやLTE/4Gの規模まで至っていない



(出典) CIAJ通信機器中期需要予測
<https://www.ciaj.or.jp/statistics/reports/3035.html>

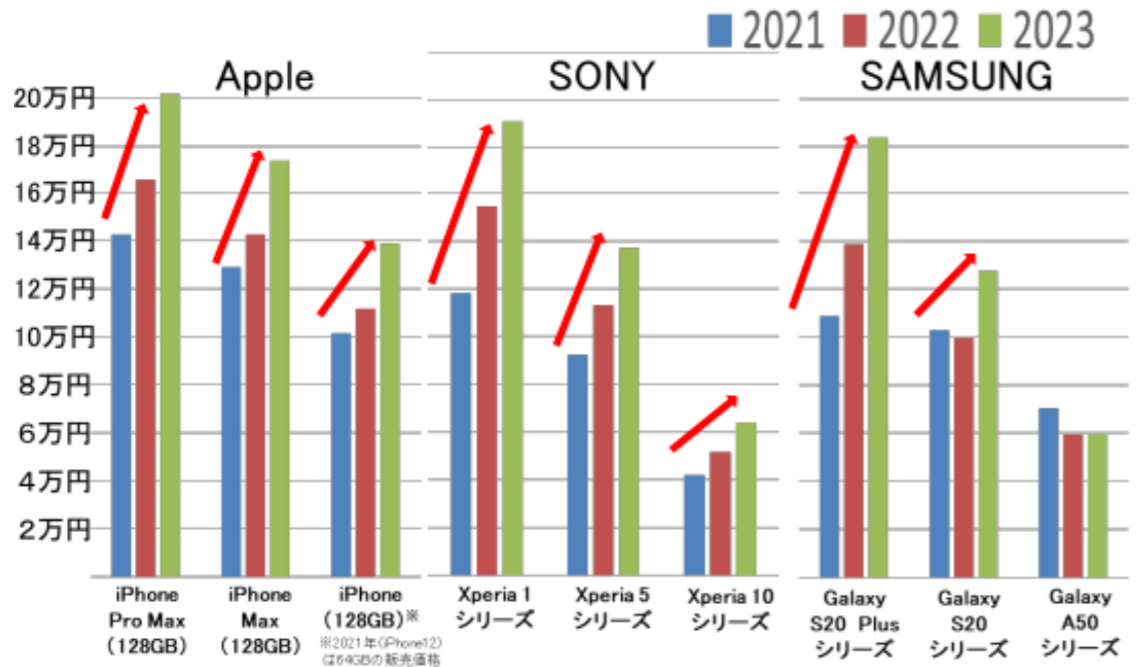


(出典) CIAJ通信機器中期需要予測
<https://www.ciaj.or.jp/statistics/reports/3035.html>

(3) 国内のモバイル端末市場の動向

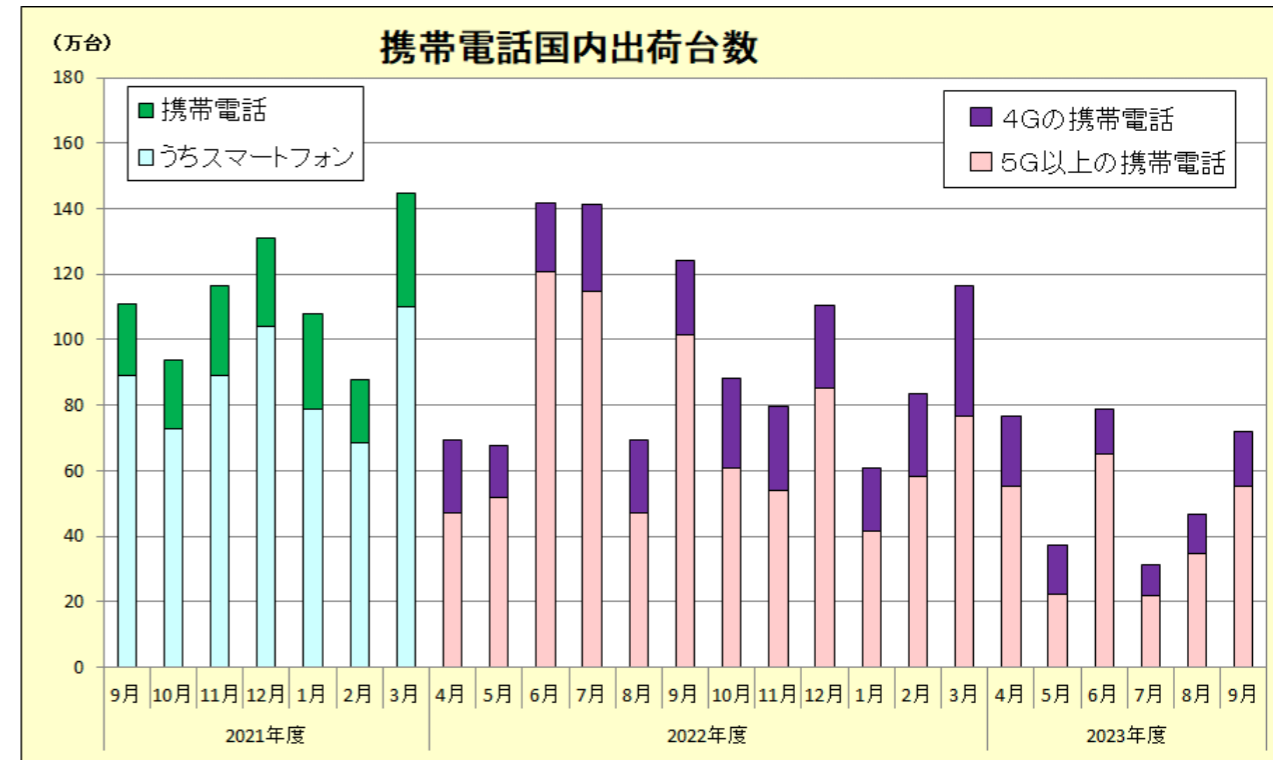
- コロナ禍を契機に日本のモバイルブロードバンドの通信トラフィックは、3年間で1.8倍に拡大
- 半導体不足や急激な円安による部材高騰により端末価格が上昇
- ユーザーの買い控えや買換えサイクルの長期化により、国内メーカーの出荷台数は大幅に低下

● 端末販売価格（新品）の推移



※電気通信サービスに係る内外価格差に関する調査を基に作成（各年3月時点における最新機種の販売価格）
 ※スマートフォンシェア上位3社(出所：statcounter)

携帯電話 国内メーカーの受注・出荷数



(出典) JEITA/CIAJ携帯電話国内出荷実績

https://www.ciaj.or.jp/statistics/statistics_data/mobile_phones.html

(出典)「日々の生活をより豊かにするためのモバイル市場競争促進プラン」令和5年11月総務省様資料
https://www.soumu.go.jp/main_content/000912248.pdf

(4) 日本のモバイルブロードバンドのインターネット実効速度

- 日本全国の5Gネットワーク環境の整備が進み、2022年度末時点の5G人口カバー率は96.6%
- 日本のモバイルブロードバンドのインターネット実効速度は、他先進国と比べ低位
- 多くの国民は、5Gの特長による利便性を実感できていない

【インターネット実効速度(モバイルブロードバンド)】

順位	国名	Down速度 Mbps	Up速度 Mbps	遅延 ms
1	UAE	269.41	25.49	19
2	カタール	206.80	23.65	20
4	中国	164.14	29.05	27
6	ノルウェイ	146.02	20.00	25
7	韓国	145.25	17.28	28
13	米国	103.69	9.49	30
25	フランス	82.60	8.18	31
41	ドイツ	64.74	12.39	26
51	イギリス	47.64	7.24	34
52	イタリア	47.38	10.05	33
53	日本	47.00	8.22	38
	平均	48.47	11.03	27

【インターネット実効速度(固定ブロードバンド)】

順位	国名	Down速度 Mbps	Up速度 Mbps	遅延 ms
1	シンガポール	264.15	218.06	4
2	ホンコン	263.07	188.03	4
4	UAE	235.72	101.69	5
5	中国	230.39	38.93	13
7	米国	215.72	23.88	13
10	フランス	200.99	150.57	10
16	日本	170.29	97.51	12
29	韓国	139.83	100.01	8
55	ドイツ	87.94	31.21	13
56	イギリス	84.93	24.58	13
72	イタリア	69.99	19.86	12
	平均	87.79	40.45	9

このままでは、国民共通の貴重な資源である電波は有効活用されず、国内メーカーが淘汰され、端末技術、無線技術が衰退。

世界をリードする情報通信技術で日本の社会課題を解決し豊かな国民生活を実現するためには、日本国内に根ざした国内メーカーの生き残りが必要と考えます。

ICT財・ICTサービスの輸入超過は更に拡大！

2005年度輸出入

順位	輸出	(%)	輸入	(%)
1	自動車	15.1	原粗油	15.5
2	半導体電子部品	6.7	衣類・同付属品	4.3
3	鉄鋼	4.6	半導体等電子部品	4.1
4	自動車の部分品	4.3	電算機類(含周辺機器)	3.6
5	科学光学機器	3.8	衣液化天然ガス	3.5
6	原動機	3.3	半音響映像機器(含部品)	2.8
7	有機化合物	2.9	魚介類	2.7
8	映像機器	2.7	石炭	2.7
9	プラスチック	2.6	石油製品	2.6
10	電気回路等の機器	2.6	非鉄金属	2.6

2020年度輸出入

順位	輸出	(%)	輸入	(%)
1	自動車	14.0	原粗油	6.8
2	半導体電子部品	6.0	液化天然ガス	4.7
3	自動車の部分品	4.3	医薬品	4.7
4	鉄鋼	3.8	通信機	4.2
5	半導体製造装置	3.7	衣類・同付属品	4.0
6	プラスチック	3.5	半導体等電子部品	3.7
7	原動機	3.2	電算機類(含周辺機器)	3.5
8	科学光学機器	2.9	非鉄金属	2.5
9	電気回路等の機器	2.5	科学光学機器	2.5
10	非鉄金属	2.3	石炭	2.5

(出典) 財務省 貿易統計「輸出入動向」より

2. ヒアリング事項

- (1) 中古端末を含む端末市場の更なる活性化のための対策
- (2) モバイル市場の競争促進に資する対策



(1) 中古端末を含む端末市場の更なる活性化のための対策

■ ユーザーに分かり易い携帯端末

- ユーザー目線での性能（CPU・GPU性能、メモリ容量、電池持ち、電池の経年劣化など）を日本市場で統一し、販売時に指標開示を義務付け

■ SIMフリー市場の普及促進

- 4MNO対応したSIMフリー端末のラインナップ拡充 | 端末メーカーへの補助金などによるSIMフリー化の促進
- ミリ波対応のSIMフリー端末 | 端末メーカーへの補助金などによるミリ波対応の促進

■ 中古市場の健全な発展

- Certified品のラインナップ拡充、Certified品の流通経路拡大
- 中古修理部品、アップデート等の端末メーカー負担の解消の仕組み

■ ミリ波対応端末の普及促進

- 5Gの特徴を生かせるミリ波対応端末は割引額上限4万円を見直し、50%あるいはさらなる割引

(2) モバイル市場の競争促進に資する対策

■ ユーザーに分かり易い通信サービス

- ユーザー目線での性能（実効速度/遅延、Sub6/ミリ波の地域毎の利用可否など）を公正な機関で比較可能な形で販売時にユーザーに開示

■ モバイルネットワーク仕様の共通化

- MNO4社のネットワーク独自仕様とMVNO/SIMフリー仕様を共通化し、
 - MNOとMVNOの競争促進とSIMフリー市場の拡大
 - ネットワークに繋がる自動車、産業機械、ロボットなどの多種多様な端末のキャリアフリー化

■ 戦略分野である情報通信インフラの国内投資促進

- Sub6/ミリ波などの最先端の設備投資への税制措置
- 情報通信機器の国内生産を促すための補助金や新たな税制措置

3. まとめ

引き続き「公平な競争環境の整備」を推進いただくとともに
日本が世界に後れを取らないようデジタル基盤である情報通信分野の
発展にも配慮した制度設計をお願いいたします





あらゆる産業、世代をつなぎ、共創する未来へ

私たちCIAJは、情報通信技術をベースに
それぞれの創意をつなぎ
豊かで新しい未来への懸け橋となります。

